



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)本牧倉庫新築工事	階数	地上6F
建設地	神奈川県横浜市中区本牧ふ頭9番90号	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	664 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 予定	評価の実施日	2022年10月23日
敷地面積	6,876 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン
建築面積	4,978 m ²	確認日	2022年10月24日
延床面積	23,827 m ²	確認者	東亜建設工業(株)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6 **LR のスコア = 3.9**

項目	スコア
Q1 室内環境	2.6
Q2 サービス性能	3.4
Q3 室外環境 (敷地内)	2.0
LR1 エネルギー	4.2
LR2 資源・マテリアル	3.8
LR3 敷地外環境	3.5

3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境、サービス性能への配慮。 ・敷地内外環境への配慮。 ・エネルギー性能、資源マテリアルの確保に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特に無し
Q1 室内環境 ・各階事務室：床タイルカーペット、天井：岩綿吸音板等の、事務室の吸音性能に配慮している。・受動喫煙防止のため、喫煙室を設けている。	Q2 サービス性能 ・6階事務室天井高：2.80m、窓設置等、広さに配慮。・耐火サンドイッチパネルを採用等、部材の耐用年数に配慮している。・階高3.90m以上、壁長さ比率：<0.1等、空間のゆとりに配慮。・倉庫積載荷重4500N/m ² 以上等、荷重のゆとりで配慮している。
LR1 エネルギー ・省エネルギー性能に配慮している。	LR2 資源・マテリアル ・自動水栓に加え、節水型便器の採用。・LGS地下、OAフロアを採用。・発泡材を用いた断熱材を採用せず、フロンハロンの回避に努めている。
	Q3 室外環境 (敷地内) ・メッシュフェンス設置で防犯性に配慮している。
	LR3 敷地外環境 ・LCCO ₂ 排出率=80%。・ガス設備設置無し等、大気汚染防止に配慮している。・交通負荷の抑制に配慮している。・光害チェックリストの過半を満たす、広告物照明無し。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい



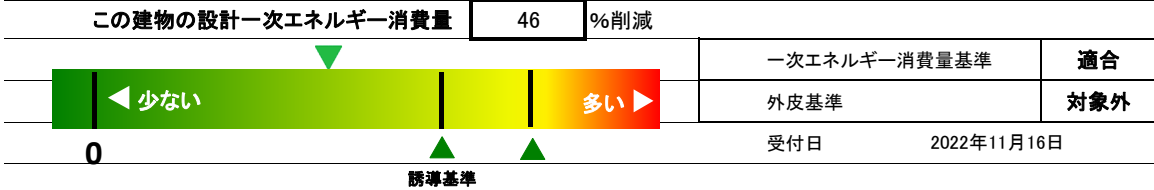
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)本牧倉庫新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 5

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③BEIm=0.54。

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪受動喫煙防止のため、喫煙室を設けている。

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑮耐火サンドイッチパネル40年

⑯床:タイルカーペット20年、壁:ビニルクロス20年、天井:石膏ボード30年

⑰上位3種がB以上、Eは不使用

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2022年版v.1.0
(仮称)本牧倉庫新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質										2.6
Q1 室内環境										2.6
1 音環境				2.7	0.15	-	-			2.7
1.1 騒音				3.0	0.40	-	-			-
1.2 遮音				1.8	0.40	-	-			-
1		開口部遮音性能		1.0	0.60	-	-			-
2		界壁遮音性能		3.0	0.40	-	-			-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-			-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-			-
1.3 吸音				4.0	0.20	-	-			-
2 温熱環境				2.0	0.35	-	-			2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-			-
1		室温 快適・働きやすさ		3.0	0.38	-	-			-
2		外皮性能 快適・働きやすさ 健康・安心		3.0	0.25	-	-			-
3		ゾーン別制御性 快適・働きやすさ		3.0	0.38	-	-			-
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式				1.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境				2.7	0.25	-	-			2.7
3.1 昼光利用				3.0	0.30	-	-			-
1		昼光率 快適・働きやすさ		3.0	0.60	-	-			-
2		方位別開口 快適・働きやすさ		-	-	-	-			-
3		昼光利用設備 快適・働きやすさ		3.0	0.40	-	-			-
3.2 グレア対策				2.0	0.30	-	-			-
1		昼光制御 快適・働きやすさ		2.0	1.00	-	-			-
3.3 照度				3.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御				3.0	0.25	-	-			-
4 空気環境				3.4	0.25	-	-			3.4
4.1 発生源対策				3.0	0.50	-	-			-
1		化学汚染物質 快適・働きやすさ		3.0	1.00	-	-			-
4.2 換気				3.0	0.30	-	-			-
1		換気量 快適・働きやすさ		3.0	0.33	-	-			-
2		自然換気性能 快適・働きやすさ		3.0	0.33	-	-			-
3		取り入れ外気への配慮 快適・働きやすさ		3.0	0.33	-	-			-
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-			-
1		CO ₂ の監視 快適・働きやすさ		-	-	-	-			-
2		喫煙の制御 快適・働きやすさ		5.0	1.00	-	-			-
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-			3.4
1 機能性				3.0	0.40	-	-			3.0
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	-	-			-
1		広さ・収納性 快適・働きやすさ		3.0	0.33	-	-			-
2		高度情報通信設備対応 快適・働きやすさ		3.0	0.33	-	-			-
3		バリアフリー計画 快適・働きやすさ		3.0	0.33	-	-			-
1.2 心理性・快適性				2.6	0.30	-	-			-
1		広さ感・景観 快適・働きやすさ		4.0	0.33	-	-			-
2		リフレッシュスペース 快適・働きやすさ		3.0	0.33	-	-			-
3		内装計画 快適・働きやすさ		1.0	0.33	-	-			-
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-			-
1		維持管理に配慮した設計 快適・働きやすさ		4.0	0.50	-	-			-
2		維持管理用機能の確保 快適・働きやすさ		3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-			3.2
2.1 耐震・免震				3.0	0.50	-	-			-
1		耐震性 防災		3.0	0.80	-	-			-
2		免震・制振性能 防災		3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数				4.0	0.30	-	-			-
1		躯体材料の耐用年数 防災		3.0	0.20	-	-			-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔 防災		5.0	0.20	-	-			-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔 防災		5.0	0.10	-	-			-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔 防災		3.0	0.10	-	-			-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔 防災		5.0	0.20	-	-			-
6		主要設備機器の更新必要間隔 防災		3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性				2.8	0.20	-	-			-
1		空調・換気設備 防災		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水・衛生設備 防災		2.0	0.20	-	-			-
3		電気設備 防災		3.0	0.20	-	-			-
4		機械・配管支持方法 防災		3.0	0.20	-	-			-
5		通信・情報設備 防災		3.0	0.20	-	-			-
3 対応性・更新性				4.2	0.30	-	-			4.2
3.1 空間のゆとり				5.0	0.30	-	-			-
1		階高のゆとり		5.0	0.60	-	-			-
2		空間の形状・自由さ		5.0	0.40	-	-			-
3.2 荷重のゆとり				5.0	0.30	-	-			-
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-			-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-			-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-			-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-			-



CASBEE横浜2022年版v.1.0
(仮称)本牧倉庫新築工事

バージョン CASBEE横浜2022年版v.1.0

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-			-
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.40	-	-			2.0
1		生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-			2.0
2		まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-			2.0
3		地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-			2.0
3.1		地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-			-
3.2		敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.9
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.2
1		建物外皮の熱負荷抑制		-	-	-	-			-
2		自然エネルギー利用		3.0	0.13	-	-			3.0
3		設備システムの高効率化		5.0	0.63	-	-			5.0
4		効率的運用		3.0	0.25	-	-			3.0
		集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-			-
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-			-
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-			-
		集合住宅の評価		-	-	-	-			-
	4.1	モニタリング		-	-	-	-			-
	4.2	運用管理体制		-	-	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			3.8
1		水資源保護		3.4	0.20	-	-			3.4
1.1		節水		4.0	0.40	-	-			-
1.2		雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-			-
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-			-
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			-
2		非再生性資源の使用量削減		3.8	0.60	-	-			3.8
2.1		材料使用量の削減		3.0	0.11	-	-			-
2.2		既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-			-
2.3		躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-			-
2.4		躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		5.0	0.22	-	-			-
2.5		持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-			-
2.6		部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.22	-	-			-
3		汚染物質含有材料の使用回避		4.3	0.20	-	-			4.3
3.1		有害物質を含まない材料の使用		5.0	0.30	-	-			-
3.2		フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-			-
	1	消火剤		-	-	-	-			-
	2	発泡剤(断熱材等)		5.0	0.50	-	-			-
	3	冷媒		3.0	0.50	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.5
1		地球温暖化への配慮		3.7	0.33	-	-			3.7
2		地域環境への配慮		3.5	0.33	-	-			3.5
2.1		大気汚染防止		5.0	0.25	-	-			-
2.2		温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-			-
2.3		地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-			-
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-			-
	2	污水处理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	3	交通負荷抑制		4.0	0.25	-	-			-
	4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
3		周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-			3.2
3.1		騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-			-
	1	騒音		3.0	1.00	-	-			-
	2	振動		-	-	-	-			-
	3	悪臭		-	-	-	-			-
3.2		風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-			-
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-			-
	2	砂塵の抑制		-	-	-	-			-
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-			-
3.3		光害の抑制		4.4	0.20	-	-			-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-			-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目				-	-	-	-			-
<事務用途>				-	-	-	-			-
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ		⑬知的生産性向上への取組	-	-	-			-
<住宅用途>				-	-	-	-			-
健康と安心				-	-	-	-			-
1		化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-			-
2		適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	-	-			-
3		結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	-	-			-
4		犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	-	-			-